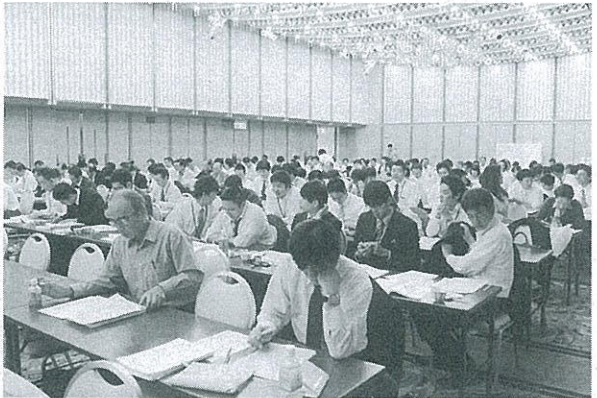


# 60問の確認テストも実施 (一社)広島県配置医薬品連合会講習会

通信教育不合格者への追試も実施



一般社団法人広島県配置医薬品連合会(小島恒治会長)の平成二十四年度第二回広島県資質向上薬事講習会は、十月十一日午前九時から広島市中区加古町の広島市文化交流会館で開かれ、

今年度最後の講習会は、広島県健康福祉局薬務課と(社)広島県薬剤師会の協力を得て開催。門那良三副会長の司会で進行、小島恒治会長があいさつを述べた。



小島会長

講習は、まず二反田薬品工業株式会社の二反田正弘社長が「漢方講座」で講義。ついで原薬務課の中村能治主任が、薬事関係講義で、献血関連や薬の週間、「ダメ。ゼッタイ。」運動、各種申請書に関して説明した。ついで原薬務課の岡田史恵専門員が医薬品に共通する特性と基本的な知識および登録販売者試験について解説。その中で、登録販売者試験における広島県での受験者や合格率の推移等が詳しく説明され、今年度の合格率が過去最低の三八%だったことも伝えられた。午前十一時四十五分からは、



二反田講師

午後一時からは、門那良三登録販売者が「人体の働きと基本的な知識」について、実物のレントゲン映像や内視鏡映像等を映写しながら講義。ついで金田和宏薬剤師が「主な医薬品とその作用」について、健康に関する様々なデータを示しながら、どうしたら長生きができるか、健康でいられるかなどをユニモアを交えつつ講義した。ここで、徳川家康の秘薬など、江戸時代の薬を題材としたDVDを上映した。つぎに、小池一正薬剤師が「医薬品の適正使用・安全対策」について、実物の添付文書を配布して詳細に



中村講師

説明し、リスク区分に関しては特に指定2類について詳しく説明、注意を促した。ひきつづき小島恒治登録販売者が「薬事関係法規・制度および倫理」について、制度の基本や配置販売業の実情、各種申請について説明した。そのあと、午後の部の講義内容についての三十問確認テストを実施、解答の終わった者から退席とし、午後六時十分には全員が退席。当日の確認テスト(業務課三十問・連合会三十問)は集計すると共に、解答用紙によって出席確認をし、後日、薬務課に報告する。また、当日の会場では、各種ポスターや通信教育の



岡田講師

成績が掲示され、通信教育の不合格者九名には追試も実施した。同会では全会員の三十時間研修受講をスローガンとしているが、今年度も全会員から通信教育テキスト解答の提出があった。新会員・退社会員のシステムチェックも行い、九〇%以上の会員に受講証明書を発行する予定となっている。広島県では毎年提出する配置従事届に受講証明書を添付する事が決められており、研修を三十時間受講出来なかった者は理由(途中入社・病気等)を明確にして申請することとし、場合によっては確約書等の提出を求められることもあることから、